







10月1週目

今週は放課後に友達と遊ぶ時間が何度かありました。

木曜日の放課後は **afs** のボランティアとして知り合った現地の男の子と、その友達の女の子と会いました。女の子は日本に興味を持っており、日本語の個人レッスンを行うほど日本に対していい印象を持ってくれていて驚きました。お互いにオススメの曲を教えあったり、ポーランドの生活はどうか聞かれたりしました。気になって冬は雪が降るのか聞いてみたところ、かなり降って学校の授業に間に合わないこともあると言われて驚きました。私の住んでいる地域はあまり雪が降らないので、どのような感じなのかとても気になります。

金曜日はミエレツにいるほかの留学生たちと一緒に放課後ランチを食べに行きました。ザピエカンカという伝統的な食べ物だそうで、パンの中に刻んだキノコとチーズ、その上に好き

な具材を乗せて食べるものらしいです。私はサラミを選びましたが、次の機会にはまた別のものを選んで食べてみたいです。

翌日の土曜日に魔女狩りのイベントがあり、皆伝統的な服を着て参加していたので、私も服を借りて参加しました。前半は皆でご飯を楽しんだり、イベントに参加していた人の生後 8 ヶ月の赤ちゃんを皆で可愛がったりして過ごしました。弓の体験もしたのですが、ヨーロッパの弓の引き方と日本の弓道の弓の引き方は違って、ヨーロッパの弓の引き方を教えてもらいました。後半は劇のようなものが始まり、ストーリーとしては森で魔女達が魔法を使っていたところを兵士たちに見られ、捕まってしまうというものでした。私達留学生も小さな魔女として参加していましたが、自分たちは魔女ではない！と言って魔女狩りから逃れました。演技とは思えないほど緊迫していて面白かったです。連れていかれた魔女たちは牢屋のようなところに連れていかれ、尋問を受けていました。その後、縛られた魔女たちは火あぶりの刑に処されてしまいました。もちろん本当に焼かれている訳ではありませんが、炎の勢いがとても強く少し危険に感じました。夜は先端に炎をつけたヨーヨーのようなものを回すパフォーマンスを見ました。暗闇の中自由自在に動く光がとても綺麗でした。興味深い体験ができたので、参加してよかったと思います。









10月2週目

今週は学校で1泊2日の遠足がありました。1日目は森の中にある橋の上を散策し、景色を見て回りました。日本では見た事のない木や植物がありとても興味深かったです。途中に植物や動物について説明した看板があり、友達からポーランド語の文章を読んでみてと言われて挑戦しましたが、上手だと言って貰えて嬉しかったです。そのあとはまた移動し、森の中にある大きな岩や不思議な形をした地形を見て回りました。なぜ森の中に人より何倍も大きい岩が発生したのかとても不思議に思いました。途中で岩と岩の間を通ってみようというアトラクションがありましたが、かなり狭く、閉所恐怖症の人は入れないほどの狭さでした。沢山歩いたので移動中のバスの中ではほとんど寝てしまいました。夕方にはヨハネ・パウロ二世の記念タワーを訪れました。ヨハネ・パウロ二世とは、ポーランド人初のローマ教皇で、とても偉大な人物だったそうです。日本にも訪れたことがあり、長崎と広島に来た際は、日本語で話をするほど勉強熱心な人だったそうで素晴らしい人物だと思いました。記念タワーの後は宿舎へ行きました。夜は皆でツイスターゲームをしたり、テレビでサッカーを

見たりして楽しい時間を過ごしました。私は途中で眠気に耐えられず寝てしまいましたが、他の人たちはとても遅くまで起きていたそうで驚きました。

2日目は2つの城を見学しました。どちらの城も見上げると首が痛くなるほど大きく、壮大な城でした。昔の犯罪者などを捕まえておく拘置所のような場所や、城の主の寝室、以前の持ち主が生活していた部屋など、とても興味深いものを見ることが出来ました。2日目に訪れた街は羊から取れるミルクとそれを加工したチーズが有名らしく、お土産としてそのチーズを購入しました。お城を見学したあとは街中に移動し、リフトのようなものに乗りました。4人乗りだったのですが、私ともう2人の友達はとても楽しんでいたのに対し、高所恐怖症の友達はとても青ざめた顔をしていて少し面白かったです。リフトを降りると広大な土地が広がっていて、様々な写真スポットがあったため走り回って写真を撮りまわりました。行きも帰りもリフトはとても楽しかったので、また乗りたいです。リフトから降りたあとは自由時間となりグループに別れて街を散策しました。お土産を買ったり、お昼として伝統料理のザピエカンカを食べたりしました。2日間を通して、美しい景色やポーランドならではの建築物、美味しい食べ物などたくさんのものを経験し、忘れられない体験となりました。



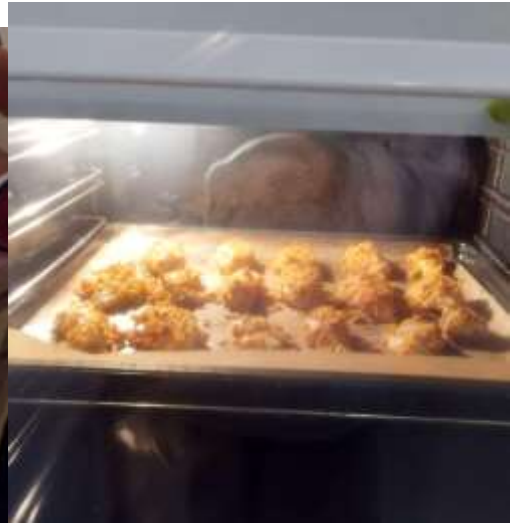




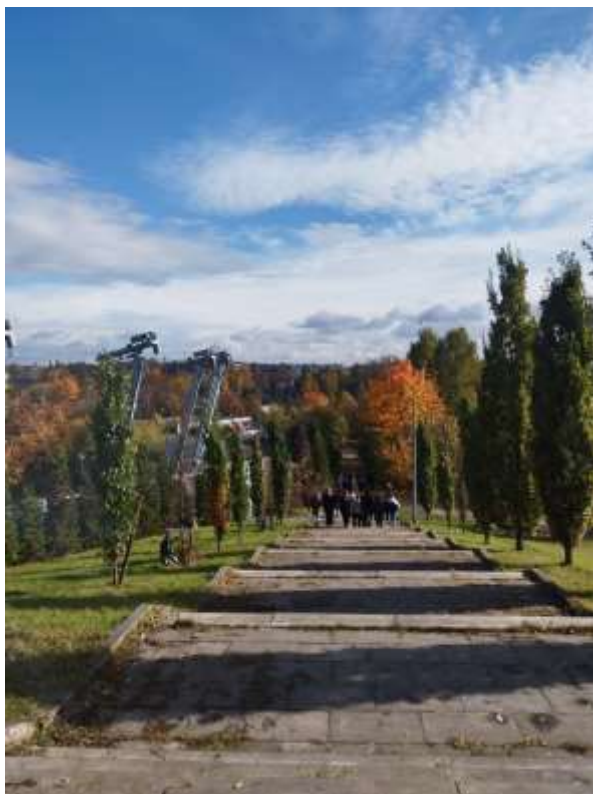
10月3週目

空気が冷え込み、朝方は霜の降る寒い季節になってきました。今週は金曜日から日曜日まで、AFSの留学生で集まってキャンプをしました。出発は12:40からだったので、バスの時間までは学校で授業を受け、時間になったら同じ地域に住む他の留学生と一緒にバスに乗り、キャンプが行われるクラクフへ向かいました。私達はバスで2時間半ほどで到着しましたが、6時間やそれ以上かけてくる人たちもいたそうなので、大変そうでした。クラクフ駅に皆が到着したら、全員でバスに乗って宿泊所まで向かいました。場所は前回と同じ場所だったのですが、寝る場所が変わっていて驚きました。移動中はポーランドへ留学に来た同じ日本人の女の子と隣に座り、近況を話し合いました。会った回数だけでいえばまだ二回目ですが、お互いに久しぶりで話したいことがたくさんあり、会話は宿舎につくまで途切れませんでした。着いてからまずは夕飯を食べました。大きな食堂に皆で座って、スープやお肉、蒸したじゃがいもなどをいただきました。食後はワークショップ1が始まり、何人かのグループに分かれて話し合いをしました。基本的に3,4人の留学生と2人のボランティアの方で1グループになり様々な活動をしました。2日目も1日で8つのワークショップを行いました。特に印象に残っているものは、事前に説明されていたこれまでのポーランドでの生活をあらわすものを何か持ってきて紹介するというものです。私は旅先で買ったその土地を表現したマグネットのようなものをいくつか持っていきました。初めて見たときからとても気に入っており、観光地に行くたびに購入しています。日本に帰ってから冷蔵庫などに貼り付けるのが今から楽しみです。その他にも、普段使っているバスのチケットや、ホストファミリーとの写真、現地で買った水筒など様々な物を持ってきていて、とても面白かったです。また、それぞれの国ごとに集まり、現地で受けたカルチャーショックを説明するというワークショップも印象に残っています。30分の準備期間があり、それぞれの国ごとに分かれて話し合いをしました。日本人は3人しかいなかったのですが、それぞれどんなカルチャーショックを受けたか話し合い、トイレについて劇をすることに決めました。私達がポーランドで驚いたこととして「トイレの中に紙がなかった」「トイレの便座に保温機能がなかった」「トイレの中でタバコを吸っている人がいた」という経験をした人が多かったので、それについて劇を行いました。ポーランドの学校ではどの学校でも一定数トイレでタバコを吸う人がいるそうで、本番でも多くの共感を受けることができました。他の国の人達は、同じよう

に生徒たちがタバコを吸っていることについて発表したり、食事を1日で4回することに驚いたことを発表したりしていました。どれも面白くて、楽しかったです。また、ワークショップが全て終わったあとの自由時間ではタレントショーというものを留学生たちが考案していたため、その時間になりました。それぞれ歌を歌ったり、自分の国のご飯を作ったり、ダンスを踊ったりしました。普段自分からあまりダンスを踊ったりすることはないのですが、場の雰囲気になれ私も皆と一緒に音楽に合わせて踊りました。緊張しましたが、とても楽しかったです。最後は皆で集合写真を取りました。残念なことに私は1番端で見切れてしまっていますが、とても笑顔な姿を想像していただければ幸いです。3日目はポーランド語のテストがありました。全くテストについての情報はなく、ただあるということしか知らなかったためとても不安で、皆起きてからはテキストの確認をしていました。なぜここまで必死になっていたのかというと、このテストはただのテストではなく、合格した人のみルブリンという街への旅行に行けるというものだったからです。テストに合格しなければルブリンへはいけないため、皆必死になって勉強していました。テストはその日のうちに返却され、私は40問中37問正解で合格することができました。他の留学生たちも全員合格することができたようで、皆で喜びを分かち合いました。これで全員来月の旅行に行くことができるため、本当に嬉しいです。最後の日を最高の気分で終えることができ嬉しかったです。次の日は休みなしに学校だと思わず少し気が滅入りますが、頑張ります。







10月4週目

今週は日帰りの遠足があり、それに参加してきました。ミエレツから2時間ほどのキエレツQという町への遠足でした。私のクラスの遠足ではなく、他のクラスから誘われたものだったので、私は同じ学校に通っているイタリアからの留学生の女の子と一緒に過ごしました。最初に訪れたのは古くからあるお城で、塔の1番上に登ったり鎧の兜を被って写真を撮った

りました。観光地で必ず集めているマグネットもここで購入することが出来て良かったです。どんどん集まってきていて、日本に持ち帰って飾るのがとても楽しみです。お城に行くまで林の中を歩いたのですが、紅葉の時期で辺り一面が黄色に染まっていてとても美しかったです。日本の様々な色が入り乱れる紅葉と違ってその林は黄色一色に染まっていたのも神秘的で印象に残っています。そのあとは大きな公園の周りを散策しました。自然発生したとは思えないほどの大きな岩や、色鮮やかな木々など、とても美しい景色を堪能出来ました。沢山歩いてお腹を空かせたあとは、街においてショッピングモールでご飯の時間になりました。日本にもあるフードコートのような場所だったので、ポーランド風の料理はなくマクドナルドを注文しましたが、日本には無いメニューばかりでとても驚きました。イタリア人の子はカレーのようなものを食べていて、とても新鮮で美味しいと言ってくれて嬉しかったです。食後は魔女の伝説を体験出来る施設へ行きました。事前に情報を聞いていなかったため、魔女の像などがあるのかと思っていましたが、とても近未来的でした。中に入ると暗闇の中で突然鏡が光出して中に人の映像が現れたり、煙が出たり、プロジェクションマッピングで魔女たちの映像が壁に映し出されたりと、話している内容は理解できませんでしたが、とても面白かったです。最後の展示室のような部屋では VR をつけて実際に魔女たちと一緒に空を飛ぶ体験ができる場所もあり、座っている椅子が動いて本当にその場にいるような躍動感でした。日帰り旅行という短い時間でしたが、非常に興味深い体験をすることが出来ました。